

育成すべき資質・能力の 三つの柱	大泉の自主・自律・創造	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
知識・技能 何を理解しているか 何ができるか	興味関心をもち、 課題を発見する力	社会的問題に興味関心をもつことができない。	社会的問題に対して興味関心をもつことができる。	社会的問題から発展した内容に興味関心をもつことができる。	社会的問題を自ら発見し、興味関心をもつことができる。	社会的問題に対し興味関心を持ち続け、自分の興味があることを関連付けることができる。
	自分の可能性を信じ、 やり抜く力	社会的事象にまつわる用語を覚えることができない。	社会的事象にまつわる用語を、ある程度覚えることができる。	社会的事象にまつわる用語を、覚えることができる。	社会的事象にまつわる概念について、ある程度理解することができる。	社会的事象にまつわる概念について、理解することができる。
	挑戦する力	社会的問題を把握することができない。	社会的問題を、ある程度把握することができる。	社会的問題の概要を、把握することができる。	社会的問題の概要について、原因や背景も含めてある程度把握することができる。	社会的問題の概要について、原因や背景も含めて把握することができる。
思考力・判断力・表現力等 理解していること・できることを どう使うか	解決に向けて 論理的に思考する力	社会的問題を自分で考えることができない。	社会的問題を、ある程度自分で考えることができる。	社会的問題を、自分で考えることができる。	社会的問題に対する考えや解決策を、自分で考えることができる。	社会的問題に対する考えや解決策を、資料などを根拠に、自分で考えることができる。
	自他の違いを認め、 思いやる力	社会的問題について、自分の考えを持つことができない。	社会的問題について、自分の考えを持つことができる。	社会的問題について、他者の意見を認めることができる。	社会的問題について、他者の意見を尊重しつつ、自分の考えを持つことができる。	他者の意見を尊重しつつ、自分の考えを、他者にわかりやすく伝えることができる。
	学びを実践に移す力	社会的問題に対する自分の考えを、他者に説明することができない。	社会的問題に対する自分の考えを、ある程度相手に説明することができる。	社会的問題に対する自分の考えを、相手に説明することができる。	社会的問題に対する自分の考えを、ある程度わかりやすく他者に説明することができる。	社会的問題に対する自分の考えを、わかりやすく他者に説明することができる。
学びに向かう力・人間性等 どのように社会・世界と関わり、 よりよい人生を送るか	自ら学びを継続する力	与えられた範囲の予習復習に取り組むことができない。	与えられた範囲の予習復習に取り組むことができる。	自ら予習復習に取り組むことができる。	自ら予習復習に取り組むことができる。	予習復習から発展した内容について自ら学び続けることができる。
	多様な人々と協働する力	グループワークなどの活動に参加することができない。	グループワークなどの活動に、ある程度参加することができる。	グループワークに参加し、積極的に他者と関わろうとしている。	積極的に他者と意見を交わすことができる。	積極的に他者と意見を交わり、議論を活性化することができる。
	自己実現に向かう力	目標をもって課題に取り組むことができない。	目標をもって課題に取り組むことができる。	自ら目標を定めて、課題に取り組むことができる。	自らの目標を達成するためのプロセスを考え、課題に取り組むことができる。	目標を達成したり、達成できなかったときは修正したりして、課題に取り組むことができる。